

1 講 評

①第三者評価機関名

社会福祉法人茨城県社会福祉協議会

②施設名等

名称	: 石崎学園	種別	: 児童養護施設
施設長氏名	: 磯崎 智弘	定員	: 50名
所在地	: 茨城県東茨城郡茨城町上石崎4698-2 TEL 029-293-8787		

③実施調査日

平成26年6月16日 ~ 平成27年3月16日

④総評

◇特に評価が高い点

自然に恵まれ、戸外での遊びが思い切りできる環境となっており、子どもたちの生活にも落ち着きが見られる。

地域との交流を密にし、夏祭りや学習に関して地域婦人会の協力や地域の学習ボランティアの協力を得ている。

中学2年生と3年生を対象に、夜間学習指導を実施し、学力の向上を図り、希望する学校に入学することができるように努めている。

小学生においても、毎週土曜日に学習指導を実施し、学力の向上に力を入れている。

スポーツの指導にも力を入れており、茨城県児童福祉施設協議会主催の球技大会で優秀な成績を収めている。

◇改善が求められる点

児童相談所との連携を密にし、必要に応じて問題発生時に解決のための話し合いの場をもち、早めに対策がとれることを期待します。

子どもたちの施設での生活やスポーツ大会での成績、行事等の様子を、子どもたち中心に「施設たより」などにまとめ、保護者や児童相談所等の関係機関へ送付し、施設での生活に関心を深めてもらえるような工夫を期待します。

客観的な基準による人事考課が適切に実施され、事業所の求める、職員個々の業務遂行能力にそった職員教育研修計画により、教育研修が組織的に実施されることを期待します。

子どもの食事に関する嗜好調査が実施され、子どもの健康状態や嗜好に配慮した食事を提供しているが、子どもの発達段階に応じた食習慣を身に付けられるよう食育が推進されることを期待します。

個々の子どもへの適切なアセスメント手法により、個別支援計画が作成され、ニーズの解決に向けて組織的に取り組むこと期待します。

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

今回評価いただいた中で評価が高いとされる学習面ですが、今後は中学3年生に対しては、夜間学習だけでなく、希望する児童には一般家庭と同じく学習塾への通塾も取り入れ、学力向上には引き続き力を入れていきたいと考えます。

改善が求められる点では、職員個々の業務遂行能力に沿った職員教育研修計画をできるだけ早く確立させ、職員研修が組織的に実施していけるよう取り組んでいきます。

今回初めて第三者評価をしていただいた内容を、職員全員が真摯に受け止め、今後の養育のなかで子どもたちの最善の利益に繋がるよう努力してまいります。

⑥第三者評価結果(別紙)

(別紙)

第三者評価結果

1 養育支援

(1)養育・支援の基本	第三者評価結果
① 子どもの存在そのものを認め、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止め、子どもを理解している。	a
② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a
③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子どもが自ら判断し行動することを保証している。	b
④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	a
⑤ 秩序ある生活を通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>複数の職員で子どもたちの生活を見守ったり、登・下校時には共に挨拶を交わしたりして様子を観察し、異変に対応ができるようにしている。</p> <p>職員は児童に対しても丁寧に対応しており、毎月ケース会議を開いて職員で情報を共有するとともに、子どもとの信頼関係を構築している。</p> <p>朝の職員が少ない時間帯であっても、子どもとともに考えて寄り添い、自ら判断ができるよう支援することを期待します。</p>	
(2)食生活	第三者評価結果
① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	a
② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	a
③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	a
(3)衣生活	
① 衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供している。	a
② 子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
(4)住生活	
① 居室等施設全体がきれいに整美されている。	b
② 子ども一人一人の居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>献立に関しての子ども嗜好を聞いて、リクエストメニューを提供するとともに、定期的に外食をしたり、調理実習をしたりするなど、マナーの習得につなげている。</p> <p>誕生日には、その子の好きな献立の特別メニューや誕生日の外食を行っている。</p> <p>給食管理マニュアルを整備している。</p> <p>職員は、子どもと同じテーブルに着き、和やかな食事となるよう努めている。</p> <p>担当職員と子どもと一緒に衣類の購入や整理、アイロンがけなどを行い、経験をさせている。</p> <p>建物は経年の古さはあるが、子どもの居室は3人部屋で整理されており、子どもが安心して起居できる居場所が確保されている。</p> <p>法人の他の事業所との合同厨房となっており、子どもの調理に関する意見を、全面的に献立に反映させることが困難なため、子どもの嗜好について調査を実施し、その結果が反映されるような取り組みを期待します。</p>	

(5)健康と安全	第三者評価結果
① 発達段階に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理ができるよう支援している。	a
② 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	a
(6)性に関する教育	
① 子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>入浴やシャワーの励行に努め、幼児の排泄指導等、発達段階に応じて支援をしている。発達段階に応じた子ども自身の健康管理や、異常時に備えて嘱託医と連携をしている。インフルエンザ対策マニュアルやノロウイルス対応マニュアル、食中毒発生時対応マニュアル、感染症マニュアルが整備され、必要な処置ができるよう努めている。</p> <p>性教育委員会が設置されており、紙芝居を利用して性教育を行うなど、子どもの成長に応じて配慮しているが、年齢・発達段階に応じた性についての正しい知識、関心が持てるよう支援していくことを期待します。</p>	

(7)自己領域の確保	第三者評価結果
① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	b
② 成長の記録(アルバム)が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	b
(8)主体性、自律性を尊重した日常生活	
① 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの問題として主体的に考えるよう支援している。	a
② 主体的に余暇を過ごすことができるよう支援している。	a
③ 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>買い物に出かけたり、小遣い帳をつけたりするなど、金銭管理が身に付くよう年齢に応じて支援をしている。</p> <p>子どもの大切なものがなくならないよう、一人ずつの専用保管庫を設置するなど、配慮をしている。</p> <p>行事に関する写真は整理しているが、個々のアルバムに成長過程の様子が分かるよう整理することを期待します。</p>	

(9)学習・進学支援、進路支援等	第三者評価結果
① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	b
② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
③ 職場実習や職場体験等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>学習が継続できるよう計画して支援をしている。</p> <p>毎月ケース会議を開催し、不登校の子ども情報を職員で共有している。</p> <p>公立や私立高校への進学場を広げ、自己決定ができるよう支援をしている。</p> <p>成績に問題のある子どもに対しては、学習の進み具合や理解度を担当職員が把握しているが、個々の能力に合わせた支援をすることを期待します。</p> <p>高校生のアルバイトは自由に経験させているが、目的を持った職場体験の場を広げる取り組みを行うことを期待します。</p>	

(10) 行動上の問題及び問題状況への対応	第三者評価結果
① 子どもが暴力・不適応行動などの問題行動をとった場合に、行動上の問題及び問題状況に適切に対応している。	a
② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a
③ 虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	a
(11) 心理的ケア	
① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>問題が発生した場合、問題行動を取った子どもに対して癒やしの場になるよう配慮をしたり、周囲の子どもを安全を図るよう配慮をしている。</p> <p>特に、低学年の子どもへの暴力があった場合は、暴力をした子どもと面談し、行動のエスカレートを未然に防ぐよう配慮をしている。</p> <p>児童相談所や警察などと連携するとともに、問題行動に対して適切に支援ができるよう職員の研修を行っている。</p> <p>子どもの心理療法を担当するカウンセラーが配置され、心理的ケアが必要な場合には対応をしている。</p> <p>問題が発生した場合、グループ会議やケース会議、指導会議と、段階を踏んで協議して対応をしている。</p>	

(12) 養育の継続性とアフターケア	第三者評価結果
① 措置変更又は受入れに当たり継続性に配慮した対応を行っている。	a
② 家庭引き取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	a
③ できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	a
④ 子どもが安定した社会生活を送ることができるよう退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>措置変更または受け入れに当たり、関係機関と連携を密にして必要な情報を得、施設での生活に不安のないよう配慮をしている。</p> <p>家庭支援専門相談員を配置し、退所後の気になる子に連絡をしたり、確認をしている。</p>	

2 家族への支援

(1) 家族とのつながり	第三者評価結果
① 児童相談所や家族の住む市町村と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりを行っている。	a
② 子どもと家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを積極的に行っている。	a
(2) 家族に対する支援	
① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>家庭支援専門相談員が、家庭訪問や学校と連携を図り、情報を共有する体制づくりをしている。</p> <p>面会や外出、外泊を支援したり、家に帰れない子どものために、「日曜の家」を活用している。</p> <p>子どもと保護者との安定した関係の再構築が図られるよう研修会を開催するなど、保護者の養育力の向上に資する支援を期待します。</p>	

3 自立支援計画、記録

(1)アセスメントの実施と自立支援計画の策定	第三者評価結果
① 子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、子どもの個々の課題を具体的に明示している。	a
② アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。	b
③ 自立支援計画について、定期的実施状況の振り返りや評価と計画の見直しを行う手順を施設として定め、実施している。	a
(2)子どもの養育・支援に関する適切な記録	
① 子ども一人一人の養育・支援の実施状況を適切に記録している。	b
② 子どもや保護者等に関する記録の管理について、規程を定めるなど管理体制を確立し、適切に管理を行っている。	b
③ 子どもや保護者等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>子ども一人ひとりの生活状況を把握するとともに、子どもにどのような養育支援を行うかを明らかにし、記録している。</p> <p>子どもや保護者等の情報、記録の保管、廃棄に関する規程を定めることを期待します。</p> <p>自立支援計画を作成して定期的に見直しを行っているが、適切なアセスメント手法を導入し、子ども一人ひとりについて、解決すべき課題が明らかにされた自立支援計画を作成することを期待します。</p>	

4 権利擁護

(1)子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者評価結果
① 子どもを尊重した養育・支援についての基本姿勢を明示し、施設内で共通の理解を持つための取組を行っている。	a
② 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	a
③ 子どもの発達に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	b
④ 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。	b
⑤ 子どもや保護者の思想や信教の自由を保障している。	a
(2)子どもの意向への配慮	
① 子どもの意向を配慮する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、養育・支援の内容の改善に向けた取組を行っている。	a
② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組む。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>基本方針や理念に基づき、グループ会議で話し合い、子どもの最善の利益を共有して支援・養育をしている。</p> <p>意見箱を設置するとともに、月1回子ども委員会を開催して子どもの意向を把握している。</p> <p>子どもの発達に応じて家族の状況や事実を伝え、そのうえで適切なフォローを行うことを期待します。</p>	

(3)入所時の説明等	第三者評価結果
① 子どもや保護者等に対して、養育・支援の内容を正しく理解できるような工夫を行い、情報の提供を行っている。	b
② 入所時に、施設で定めた様式に基づき養育・支援の内容や施設での約束ごとについて子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	b
③ 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	a
(4)権利についての説明	
① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	b
(5)子どもが意見や苦情を述べやすい環境	
① 子どもが相談したり意見を述べたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、子どもに伝えるための取組を行っている。	b
② 苦情解決の仕組みを確立し、子どもや保護者等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。	b
③ 子ども等からの意見や苦情等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。	b
(6)被措置児童等虐待対応	
① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	a
② 子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a
(7)他者の尊重	
① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>虐待防止に関するマニュアルを作成したり、第三者委員から意見を聞いたりするなど、迅速な対応の整備ができています。</p> <p>子どもの生活に関するマニュアルを作成し、職員の研修を行っている。</p> <p>意見箱の設置や月1回こども委員会を開催して子どもの声を反映させているが、子どもからの意見や苦情に対するマニュアルを整備することを期待します。</p> <p>子どもや保護者に対して話し合いの場を設け、施設でのこれからの生活が不安とならないよう、入所時の施設生活について説明書を作成することを期待します。</p>	

5 事故防止と安全対策

(1)事故防止と安全対策	第三者評価結果
① 事故、感染症の発生時など緊急時の子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。	a
② 災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	b
③ 子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>ヒヤリハットや事故について、事故報告書が整備されている。</p> <p>災害に備えて水や食料などを備蓄するとともに、釜や薪等も確保している。</p> <p>災害防止やインフルエンザ、ノロウイルス、食中毒、安全管理、園内事故防止等各種マニュアルが法人として整備するとともに、関係機関と連携を図っているが、施設独自のマニュアルを作成することを期待します。</p>	

6 関係機関連携・地域支援

(1)関係機関等の連携	第三者評価結果
① 施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。	a
② 児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。	b
③ 幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校など子どもが通う学校と連携を密にしている。	a
(2)地域との交流	
① 子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを行っている。	a
② 施設が有する機能を地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	b
③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。	b
(3)地域支援	
① 地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。	a
② 地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>職員及び関係機関の連絡先リストを職員室に掲示している。 中学校のクラブ活動に職員が積極的に関わっている。 学習ボランティアやライオンズクラブによる食事提供の奉仕活動を受け入れ、記録簿が整備されている。 近隣の市や町とショートステイ契約を結び、地域の子育てニーズに対応している。 法人理事長が地域の町社会福祉協議会の理事に就任したり、職員が地域の子ども会育成会の役員を引き受けている。 児童相談所と定期的な連携の機会をもうけることを期待します。</p>	

7 職員の資質向上

(1)職員の資質向上	第三者評価結果
① 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	b
② 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	c
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。	a
④ スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上を支援している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>研修を受講した職員は復命書を作成し、職員で内容を共有している。 個々の職員への客観的な評価基準により、業務に必要なとされる能力の評価が実施され、結果が反映された職員一人ひとりについての研修計画を作成することを期待します。</p>	

8 施設の運営

(1) 運営理念、基本方針の確立と周知	第三者評価結果
① 法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	a
② 法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	a
③ 運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a
④ 運営理念や基本方針を子どもや保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	c
(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定	
① 施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。	b
② 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。	a
③ 事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。	b
④ 事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a
⑤ 事業計画を子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>事業計画に法人や施設の運営理念を明文化するとともに、運営理念に基づいた適切な内容の基本方針が明文化され、職員に配布している。</p> <p>事業所の事業計画は、運営方針や支援計画として、法人の事業計画の一部として作成されている。将来、放課後児童クラブの運営や地域小規模児童養護施設の設置を計画している。</p> <p>子どもや保護者に事業計画を配付し、運営理念や基本方針の理解を促す取り組みを期待します。</p>	

(3) 施設長の責任とリーダーシップ	第三者評価結果
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。	a
② 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。	a
③ 施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	a
④ 施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	a
(4) 経営状況の把握	
① 施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	b
② 運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	b
③ 外部監査(外部の専門家による監査)を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに十分な指導力を発揮している。</p> <p>施設長は、業務日誌や職員勤務表、職員電話対応連絡表等にて、業務を管理している。</p> <p>公認会計士などの外部監査を実施し、施設運営上の改善課題の発見と、改善に向けた取り組みに期待します。</p>	

(5) 人事管理の体制整備	第三者評価結果
① 施設が目標とする養育・支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。	b
② 客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	c
③ 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。	b
④ 職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。	b

(6) 実習生の受入れ	第三者評価結果
① 実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。	b

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

施設長は、個々の職員との面談を年2回行い、就業上の意向を確認している。福利厚生センターなどに加入しているほか、事業所独自に職員互助会が設置されている。客観的な基準に基づいた定期的な人事考課が行われることを期待します。実習生の受け入れや育成に対しての体制を整備しているが、学校側と実習内容について協議し、施設としての実習計画を整備することを期待します。

(7) 標準的な実施方法の確立	第三者評価結果
① 養育・支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	a
② 標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるように仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	b

(8) 評価と改善の取組	第三者評価結果
① 施設運営や養育・支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。	b
② 評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。	b

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

運営方針や支援方針の中に、標準的な養育・支援について文書化している。自己評価を毎年行うとともに、定期的に第三者評価を受審し、改善委員会を設置するなど、計画的・組織的に改善に取り組むことを期待します。